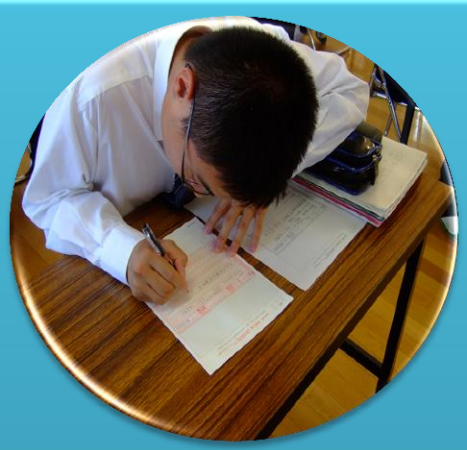
北九州中央高等学園の教育プランと進路指導

北九州市立特別支援学校

北九州中央高等学園

就業のための３つの視点



生徒を育てる

①

就業につなぐ

②

環境を整える

③

宿泊勤労体験学習

目的　福祉施設（入所）に宿泊し、
施設内外の清掃活動を通して
働く意義を学ぶ。

対象　２年生全員

施設　福岡県内の
福祉機関

期間　３泊４日

産業現場等における実習

進路指導の中核

定期実習　・全生徒対象　年間２回

特別実習　・生徒の課題に応じて実施

チャレンジ・・・・・・１～２年生対象
課題改善・就業への意欲向

ステップアップ・・３年生対象　雇用に向け課題改善

ハローワーク・・・・体験重視、実習先の拡大

実習の様子

実習名	実習先	仕事内容	実習の意図
定期実習 １年Ⅱ期	**バス会社**	バスの車内 清掃	働くことの意味理解
定期実習 ２年Ⅰ期	**農作業 肥料製造等**	肥料の袋・箱詰め	働くことの厳しさを理解させる
定期実習 ２年Ⅱ期	**クリーニング**	ハンガー、清掃 袋かけ アイロンかけ	得意な面を生かす
特別実習 チャレンジ	**自動車学校**	洗車、教室清掃 ペンキ塗り、外掃	多様な職場環境を経験し、社会人として適切な言動を育てる
定期実習 ３年Ⅰ期	**製麺・販売**	荷物運び 製造ラインで作業	〃
特別実習 ステップアップ	**クリーニング**	袋かけ、ハンガー整理、 ピンどめ	就業を目指す

進路指導主事との面談

- 面談①（生徒と課題を整理）

参加者　生徒・担任・進路指導主事

内　容　実習のふりかえり

・課題の確認

・課題改善の取組の確認

進路指導主事との面談

面談①（生徒と課題を整理）

自分を見つめる

将来の姿を考える

実現への努力をする

⇒

理解を促す

一緒に取組む

夢、将来像、目標を
自分の言葉で伝える

⇒

自己理解

自　信

進路指導主事との面談

面談②（保護者と課題等を確認）

参加者　保護者・生徒・担任・進路指導主事

内　容　障害の正しい理解と受容

・実態を踏まえた進路指導
・生徒の課題の共有
・家庭・保護者の役割の確認

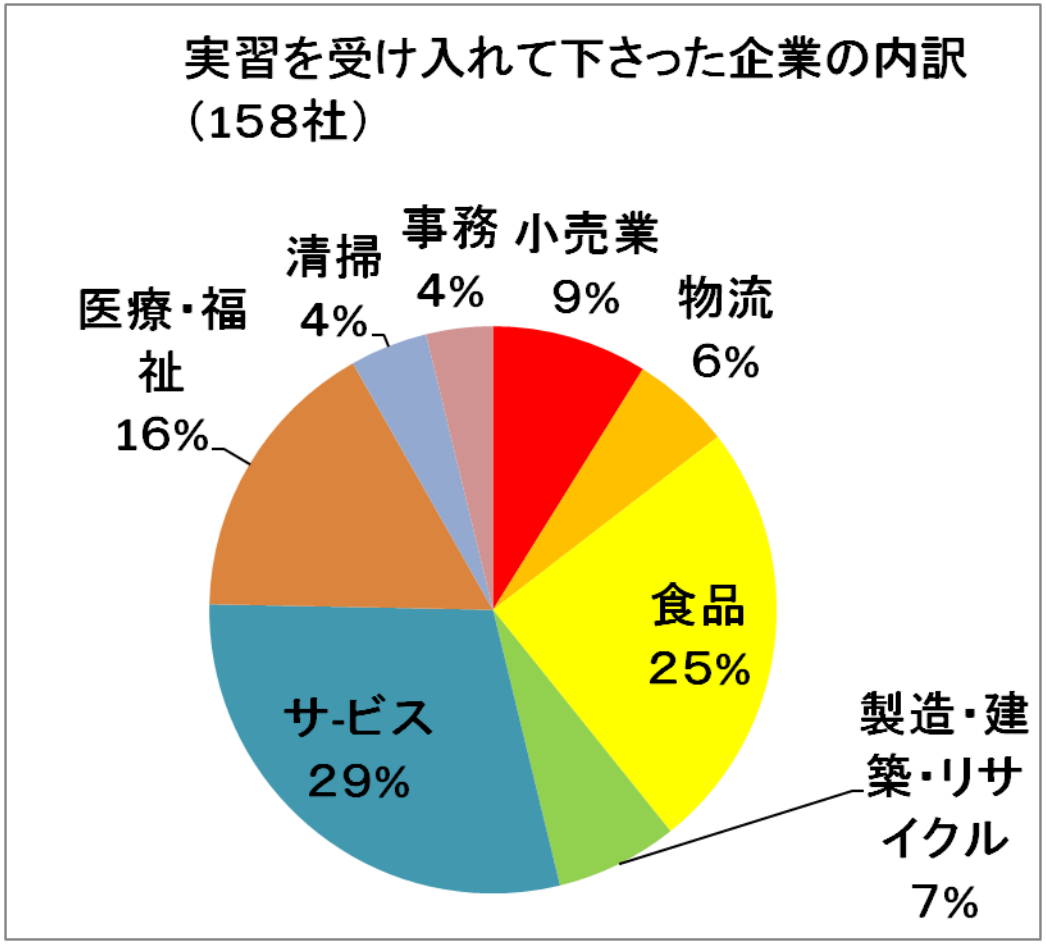
※　家庭・保護者と学校との連携！

進路支援部のまとめ

ベストマッチングのために　職場開拓

進路支援部のまとめ

ベストマッチングのために　職場開拓



実習承諾企業
(158社)の内訳

進路支援部のまとめ

生徒の顔を思い浮かべイメージ

- 人との出会い
- 仕事との出会い
- 仕事を通しての交流

社会で学ぶ

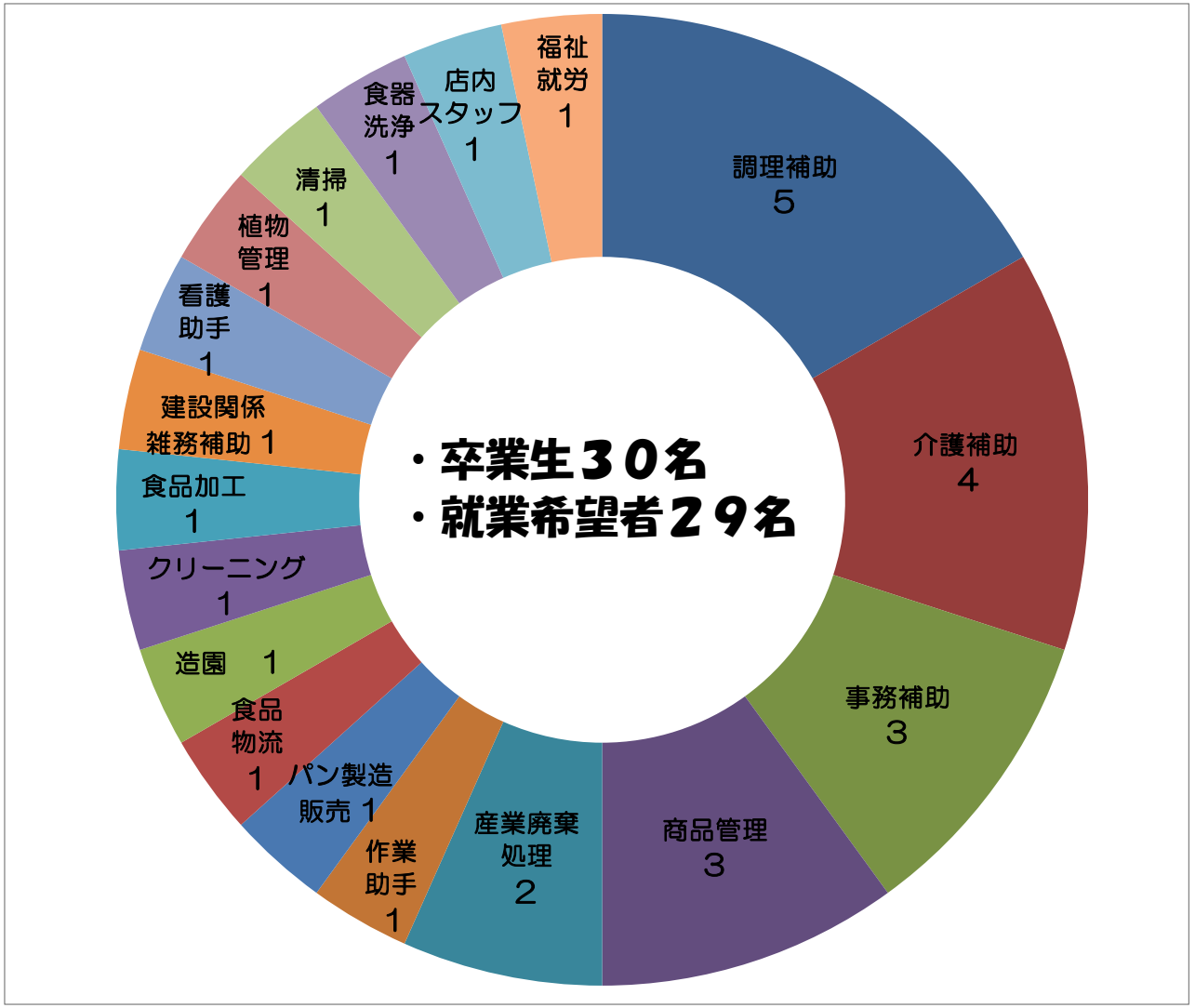
達成感
良い影響

ベストマッチングのための

タイミング
出会いときっかけ作り

平成２１年度　進路状況

就業	２９名 (100%)



おわりに

今後の課題

- 進路先での定着
- 地域社会で豊かな生活

→卒後支援の充実

一人でも多くの生徒が
地域社会で活躍できるために！

新たな課題(福祉就労・卒後支援)

生徒会選挙

新たな課題(福祉就労)

- 障害を認められない生徒

→ 進路変更

- 中度知的障害の生徒
- 生徒指導上の課題が顕著な生徒
- 精神的な疾患のある生徒

→ 就業から
福祉就労へ